

うえだ News 環境市民会議

平成 16 年 9 月 15 日
第 11 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
seikatukankyo@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

今から始めよう！環境にやさしくらし
～美しい地球を残すために～

うえだ環境フェアに参加します！

10月23日(土)午前10時から午後3時まで、上田創造館において開催される「うえだ環境フェア」に参加することになりました。環境問題に携わる市内20以上の団体・企業が参加しますので、環境にやさしいもの、環境に関する情報がいっぱいです。当会議も7つのワーキングチームがそれぞれの活動報告の場として展示などを行う予定ですので、各ワーキングチームでの展示作品の作成などにご協力ください。また、当日はフリーマーケットも開催されます。ご家族やお友だちもお誘いのうえ是非ご参加ください。

自然豊かな山と川を育むまち

- 8月7日 川ピオトープ造りを行いました。
- 「浦里とんぼの会」「浦野自治会」「浦野青少年健全育成会」と共に、地域の川を魚や昆虫の棲める「川ピオトープ」として活用するための作業を行いました。
浦野地区の阿鳥川は、今年1月に川底を平らにされて魚1匹見えなくなりましたが、すぐに小さな淵ができて親魚や小魚が多く泳ぐようになったため、自然にできた淵や瀬に少し手を差し伸べ、安定的な生き物の復活を目指すことになりました。
子供5人を含む27人の参加者により、1.2×3mの看板設置や川の中のビニールごみ拾いなどを行いました。石を浮かせ絡ませる作業はきれいにでき、淵や深み造りもきれいにできましたが、自然にできる淵や深みへの水導入作業や、淵や深みの深さの確認はできませんでした。また、魚の救出、引越し作戦もできなかったのですが、翌日の夕方には早くも上流の中川原橋下に造った淵に魚が泳いでおり、ところどころに淵、深みが必要だと感じました。
- うえだ環境フェアでは、染屋の森の会との共同でのパネル展示、浦里とんぼの会との共同での田んぼピオトープの紹介をする予定です。

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

- 市内で名水といわれている湧水の水質検査を行います。浄水場、下水処理場などの施設見学会に参加し、命の水について考えていきます。雨水利用など、水の有効利用について検討します。

うえだの景観

- 8月28日 歩こう！まゆの里しおじり
－蚕種屋(たねや)の面影をたずねて－開催
- 西部公民館主催の「歩こう！まゆの里しおじり－蚕種屋(たねや)の面影をたずねて－」で竹内秀夫が案内役を務め、下塩尻地区の蚕室造りの民家を見て歩きました。この講座は3回連続で、これまでに秋和地区と上塩尻地区を歩き、今回の下塩尻地区が最終回でした。
- 上田駅お城口駅前広場の「草取り・ごみ拾い」
- 8月中は延べ4人の方に作業をして頂きました。ご協力ありがとうございました。「草取り・ごみ拾い」は継続して行いますので、「うえだ環境市民会議」のみみなさんのご都合のいい日時に今後も作業をして頂けたらと思います。

【上田駅お城口駅前広場の PR用清掃作業協力をお願い】

現在、上田駅お城口駅前広場の清掃作業は市役所管理課が委託している企業が主に行っていますが、このほかにも防犯パトロールの方々や上田染谷丘高校及び上田千曲高校の生徒などが実施しています。このように多くの市民が関わることによって、愛される駅前広場になっていくのだと思います。

「うえだ環境市民会議」としてもさらに多くの市民に呼びかけるため、PRとしての清掃作業を9月中に実施したいと思っておりますので、ご協力お願い致します。実施日が決まりましたらお知らせします。

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。参加ご希望の方は、上田市生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

事務局 上田市生活環境課内：電話 0268-23-5120

地球 SOS

- 上田から発信する地球温暖化対策の提案を検討しています。身近で実行できる省エネルギー方法を考え、市民に広げます。循環型社会（ゼロ・エミッション）の実践を学び拡大を考えます。森と街に気温測定器を設置して、上田の街のヒートアイランド現象を観察し、緑地の効果を考えます。
- うえだ環境フェアにおける展示については、森と街の気温比較とシラカシ観察会を通しての温暖化現象の啓発などを予定しています。

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

- 食品トレイ使用品目削減活動において、協力団体により食品トレイ使用品目店頭調査を行いました。結果を市内食品小売業者に報告すると共に、現在の食品トレイを使用した販売方法から「はだか売り」などの方法に変える事ができるかアンケート調査を実施しました。野菜類、くだもの類では「はだか売り」などが可能であるとの回答が大半を占めました。惣菜類、魚肉類に関しては「入荷時にトレイに入っている」「トレイは必要」という回答が大半を占めました。今後は協力団体と共に事業者との懇談会を開催し、トレイを使用しない商品の販売について協議していきます。
- うえだ環境フェアにおいて、食品トレイ使用品目削減活動の報告と、レジ袋削減活動への取組について紹介することになりました。

環境学習 いのち ～命の連環を学ぶ～

- 9月3日 フィールドワーク開催 参加者 22人
- メンバーの竹内史人さんによる無農薬での米作りの様子を見学しました。上田交通別所線寺下駅近くにある田畑では、約300坪ある田での米作りや様々な種類の野菜が栽培されていました。田んぼは無農薬で肥料には糞や堆肥を使い、田植えもすべて2本ずつの手植えという昔ながらの農法により米が栽培されていました。隣にある機械植えて農薬を使った田んぼで育った稲と比較する事ができましたが、手植えは苗の間隔が広いのですが実際に収穫される量は多く、通常300坪当たり約6俵の米が収穫できるところ、ここでは約8俵もの収穫があるとのことでした。畑では鈴なりに実った甘くて美味しいミニトマトを食べながら、オクラやゴマ、はと麦など、珍しい農作物をたくさん見る事ができました。ゴマには体長7～8cmはあるであろう毛虫（毛は無かったです。）も付いていて大騒ぎにもなりました。旧小牧・諏訪形・中之条・上田原・神畑村を流れる六か村堰も見学しました。この辺り一帯の田畑を潤すこの用水路は、参加者による浮子法での測定で、1秒間に約1トン程の水量があり

そうだとのことでした。前日の雨で水が若干濁っていたことや、水路に流れ着いたたくさんの家庭ごみを見て、作物の栽培に使われる水の水質について不安を感じるとの感想も聞かれました。見学後、神畑公民館をお借りして、無農薬米の試食をしました。7分付きに精米されたお米は甘味があり、自家製の味噌で作られた豚汁も合わせて大好評でした。農業においてはやはり後継者の問題が深刻で、今後竹内さんのように手植えや無農薬で米を栽培していくことは難しくなっていくようです。後継者問題だけでなく、農薬問題など農業問題の深刻さを考えるよい機会となりました。



「苗の間隔が広い手植え」▲



▲「苗の間隔が狭い機械植え」

環境 ISO ネットワーク

- 8月27日 エコアクション21説明会に出席
会場：上田東急イン
- （社）長野県環境保全協会上小支部主催による「エコアクション21説明会」が開催され、環境にやさしい事業活動の推進と「環境ISOヘルプデスク」において、地域の事業者への普及啓発を図ることを目的として、ネットワークの研修事業として参加しました。
- 環境ISOヘルプデスクの開設に向けて検討していきます。
- うえだ環境フェアにおいて、長野県環境保全協会上小支部と共に活動報告などを行う予定です。